

2011年
9月
第2号

ノオト

ノオトはNPOアスイクが発行するニュースレターです。
発行 NPOアスイク
TEL 090-4554-9988
URL <http://asuiku.sendai-net.com/>
Email asuiku0328@gmail.com
住所 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4丁目1-3
NPOアスイク レターケース84番

奨学金・個別指導つき学習スペース「まなびのタマリバ」オープン！

トピック

NPOアスイクは震災直後から、震災によってハンデを負う子どもを一人でも減らすことを目指して、避難所、仮設住宅で学習サポート活動を行ってきました。しかし、私たちがサポートできているのは、ほんの一握りの子どもたちに過ぎません。特に仙台市内でおよそ8,000戸といわれている借り上げ住宅に入居している子どもたちに対しては、アプローチできていないのが現状でした。一説によると、8,000戸のうち相当な割合が仙台市外からの移住者だとか。仕事や新しい環境への不安を抱えながら生活しているご家庭も多いと推察されます。

そこで私たちは主に借り上げ住宅に住んでいらっしゃるご家庭を対象に、この9月から奨学金・個別指導つき学習スペース「まなびのタマリバ」を開設しました。この学習スペースの特徴は大きく4つ。開設時間であれば、いつでも利用できること。教員志望の学生などを中心とした学習サポーターが勉強をしてくれること。学校の勉強だけでなく、たとえば金銭教育などの課外授業・イベントも実施すること。そして、被災などによってあまり料金を負担できないご家庭には、利用料金からの割引というカタチで奨学金を提供すること（奨学金適用後は、月5,000円）。

被災やももとの経済的事情に関わらず、まなび意欲のある子どもたちが気軽に集い、さまざまな人たちとの関わりの中から成長していく場。学習サポーターや参加する大人たちも、子どもたちとの関わりから学ばせてもらう場。そういった意味をこめて、「まなびのタマリバ」と名づけました。

現在、宮城野区のNPOプラザ（榴岡公園の裏）で、火曜～金曜（祝日除く）の16:00～20:00で実施中。さっそく2人の子どもが利用を始めています。少しでも興味をお持ちいただきましたら、気軽にご相談ください。お知り合いへの紹介も大歓迎です。



河合塾のプロ講師による学習サポーター研修

活動報告



アスイクでは9月3日に、河合塾さんとの連携によるサポーター研修会を開催しました。参加したのは、東京から「被災地の子どもを応援したい」と駆けつけてくださった河合塾講師4名と、アスイクの学習サポーター10名。会の中で際立ったのは、学習サポーターの真剣さです。子どものモチベーションを上げる方法や有効な宿題の出し方など、河合塾で実践している方法を聞き洩らさないようメモを取り、質疑では、手が挙がり続けました。どのサポーターも「活動に活かしたい」という思いが溢れていて、予定していた3時間では足りないほどでした。

最後には、河合塾講師の方々から、「サポーターのモチベーションが高く、本当に感動した。みなさんにサポートしてもらっている子ども達は本当に幸せだと思う。」という大変ありがたいコメントをいただきました。アスイクでは今後もこのような研修会を開催し、学習支援活動のレベルを向上させていきたいと思っております。ご協力いただいた河合塾のみなさまありがとうございました。

子どもの遊び場がなくて困っていませんか？

みみより情報

アスイクの活動をしていると、いろいろな方から、「子どもが自由に遊べる場所が少なくて…」というお困りの声をよく聞きます。そこで今日は、『NPO法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク』さんが運営されている「あそび場」をご紹介します。

こちらの「あそび場」では、子どもたちは大人のプレーリーダーに見守られながら、自分が「やってみよう！」と思うあそびにとことん取り組むことができます。

「子どもの心のケア」が言われていますが、子どもは遊ぶ中で回復する力を持っていると言われます。わくわくするあそびいっぱい「あそび場」に、ぜひお出かけになってみて下さい！

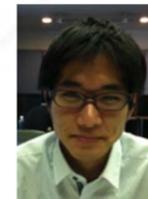
＜あそび場スケジュール＞

- 荒井2号公園（仙台市若林区伊在）
毎週水曜10：00～16：00
- 若林日辺グラウンド
（仙台市若林区日辺字沖田東15）
毎週木曜14：00～17：00
- 荒井4号公園（七郷市民センター隣）
毎週土曜10：00～17：00
- 六郷小学校校庭の一角
（仙台市若林区六郷11-11）
毎週日曜10：00～16：00

問い合わせ先：NPO法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク
TEL&FAX：070-6492-6232 E-mail：boukenhiroba@bz01.plala.or.jp

サポーター紹介

- 荒井小学校用地で活動をしております井原拓真と申します。
- この活動に参加したきっかけは？
避難所で夜間警備のボランティアをしていたときに、アスイクのチラシを見つけたのがきっかけで参加しました。
- 大学ではどういうことを学んでいるのですか？
小さい頃から理科が好きで、今は燃焼と音の関係を利用した工学機械の研究をしています。将来は子どもに理科の楽しさを伝える仕事をしたいと考えています。
- アスイクでの活動は、井原さんにとってどういうものですか？
学力面でのサポートだけでなく、人と人との関わり合いを大事にしながら活動できるところにやりがいを感じます。
- これからどういう活動をしていきたいですか？
「子ども達にとって、何が必要か」をサポート者同士で常に話し合いながら、よりよい活動にしていきたいです。先生というより、近所のお兄さんのような立ち位置で接していきたいです。
- 最後に保護者の方々へ一言お願いします。
生徒に教えているというより、僕も生徒と一緒に勉強している気持ちです。秋になって、勉強も本格的になると同時に学校生活にも慣れて楽しくなってくると思います。そういう話題を子ども達と話していければと思っていますので、これからもよろしくをお願いします。



スタッフ紹介

- こんにちは、アスイク事務局の伊達と申します。
- 『子どもの成長って、学校と家庭だけで支えられるものではないんじゃないかな』。大学4年生のときにそう思って以降、学校でも家庭でもない場所での学び（これを社会教育といいます！）の場をつくるための活動を始めました。
- 7月まで東京におり、仕事のかたわらボランティアとして活動を続けていたのですが、震災をきっかけに故郷・仙台に戻ってきました。東京の子どもたちと向き合ってきた3年間で得たもの全てを、東北の子どもたちのために使おうと思いつつ…。
- アスイクの活動を通じて、一人でも多くのお子さん、親御さんの笑顔を支えたいと思っています。また、『気軽に話ができるスタッフ』でありたいとも思っていますので、何かありましたら小さいことでもぜひぜひお声がけください。
- （1983年生まれ。仙台市出身。立教大学文学部卒業）



今後の活動

NPOアスイクでは、被災地の子どもたちを支援するために、いくつかの活動を計画中です。ここでは、その一部をご紹介します。

中学生まちなかインターン

アスイクではお子様の伸びやかな成長を願い、学力にとどまらない支援活動をしたいと考えているのですが、その一つとして、10月から「中学生まちなかインターン」という企画を実施します。これは中学生のみんなにオトナの世界に飛び込んでもらい、その裏側を体験してもらうプログラムです。活動場所は産直物産の販売ショップや、お年寄りのためのお買い物代行をしている市民団体、児童館などなど。参加してくれたひとにはおこづかいも出ちゃいます。

記念すべき第一回目の日程は、10月15（土）、16（日）の13：00～17：10。舞台は長町で行われるアートのイベント「アートインクルージョンながまち2011」です。

参加のお申込み・お問合せは080-3128-9988（伊達）までお気軽にご連絡ください！

★メンバーズ・スペース★

今回は、誰もが初めに習う英語「I'm sorry.」についての小話を紹介します。「アメリカは、小さなこともすぐに裁判になる訴訟社会。自分が悪いと認めたら裁判で不利になるからアメリカ人は絶対に謝らない」と英語の授業で習いませんでしたか？

実は、それは昔の話。今は「アイム・ソーリー法」というのができて、先に謝ったとしても、裁判で証拠とされないことになったのです。

法律がないと「I'm sorry.」と言えないなんて、ちょっと驚きですね！？